

自治体広域連携による「ローカルベンチャー」推進事業

都道府県名	その他
作成主体名	北海道上川郡下川町及び勇払郡厚真町、岩手県釜石市、宮城県石巻市及び気仙沼市、岡山県英田郡西粟倉村、徳島県勝浦郡上勝町並びに宮崎県日南市
区域の範囲	北海道上川郡下川町及び勇払郡厚真町、岩手県釜石市、宮城県石巻市及び気仙沼市、岡山県英田郡西粟倉村、徳島県勝浦郡上勝町並びに宮崎県日南市の全域

地域再生計画の概要

地方推進交付金事業として、8市町村連携による起業家型人材・マッチング・事業成長支援を行う、自治体広域連携による「ローカルベンチャー」推進事業を実施する。事業内容は、起業家型人材育成から、地域へのマッチング、その後の事業成長支援までを一貫通貫で支える広域自治体共通プログラムの開発・実施及び、その共通プログラムの履修を前提に、それだけでは不足する地域独自の課題を補うために、各自治体がそれぞれのノウハウを持ち寄り、各地域が実施するオリジナルプログラムの開発・実施を行う。

適用される支援措置

地方創生推進交付金

自治体広域連携による「ローカルベンチャー」推進事業
～8市町村連携による起業家型人材育成・マッチング・事業成長支援～

【対象事業額】
平成28年度：202,857千円
(37年度までで概算：1,248,258千円)

■事業の背景・概要

- 各地域の人口減少対策や産業振興が懸念から、各地域において創業支援策を推進している。その取り組みを協働して進め、効果的な支援策を実施していく。地域資源を活用し、地域活性化の推進や経済と社会の両立を図る。地域産業振興、地域人材育成、地域活性化の推進を図る。
- 各地域には、ノウハウや経験が豊富で、ビジネスの経験が豊富である。地域資源を活用し、地域産業振興、地域人材育成、地域活性化の推進を図る。
- 各地域には、ノウハウや経験が豊富で、ビジネスの経験が豊富である。地域資源を活用し、地域産業振興、地域人材育成、地域活性化の推進を図る。

■事業の実施体制(スキーム)

ローカルベンチャー推進協議会(仮称) (任意合組(年10,000千円))

- ローカルベンチャー推進協議会(仮称)
- 各自治体
- ローカル事務局
- ローカル事務局(NPO法人ETIC)

■事業内容

- ①起業家型人材育成
- ②マッチング
- ③事業成長支援

■KPI

- ローカルベンチャー一団50-100名
- 創業支援事業の推進
- 地域産業振興の推進

■自立化戦略

- 各自治体のノウハウや経験を活かして、地域産業振興、地域人材育成、地域活性化の推進を図る。
- 各自治体のノウハウや経験を活かして、地域産業振興、地域人材育成、地域活性化の推進を図る。

事業の実施体制

協議会を設立、第一階層は自治体(ETIC)で構成し、交付金事業全体の方針についての重要決定を行う。第二階層は、ローカルベンチャー(ローカル事務局)の設置。各事業領域別の分科会を随時実施する。

ローカルベンチャー推進協議会(仮称) (任意合組(年1,000万円))

各自治体

本部事務局 NPO法人ETIC

各自治体

- ローカル事務局(厚真町)：エーゼロ(株)
- ローカル事務局(下川町)：NPO法人森の生活 下川町産業活性化支援機構
- ローカル事務局(釜石市)：釜石ローカルベンチャー推進協議会(仮称)
- ローカル事務局(気仙沼市)：調整中
- ローカル事務局(石巻市)：調整中
- ローカル事務局(西粟倉村)：エーゼロ(株)
- ローカル事務局(上勝町)：(株)いんどり
- ローカル事務局(日南市)：(仮称)創客創人センター

■協議会の重要決定に基づき、各ローカル事務局との調整や推進力の強化の企画・推進を担う。

■また本協議会の各自治体や関係企業との連携も推進する。

■推進力の強化の企画・推進を担う。

■また本協議会の各自治体や関係企業との連携も推進する。

自治体広域連携による「ローカルベンチャー」推進事業 (イメージ概要)

事業の実施体制